

1、両手足の拘縮で衣服の着脱が困難です。自宅では、着替えなしでパジャマのまま生活しています。上に羽織る物を同梱しますのでご考慮下さいませんか。

2、自力での飲食、自力での排泄が不可能です。飲食は、すべて「胃ろう」(PEG)からの注入です。

① 栄養剤、「ラコール」7食分持参しています。

② 湯茶の量は、1回当たり400CC、でお願いします。なお、1日1回、持参のビフィズ菌1袋を混入して下さい。

③ 排泄は、週間二回、「なごみの郷」のデイサービスで、「摘便」して頂いて解決しています。御所でも、適宜の「摘便」をお願いします。

3、退院後、すでに2ヶ月を経ますが、連日、深夜から早朝、上半身に「滝のような発汗」が続いています。1日として乾いて起床したことはありません。

① 就寝にさいしては、防水シートを敷き、その上にタオルケット

を重ねてベッドの汚染を防止して下さい。

② 就寝に際しては、胸にタオルを広げて当てて下さい。発汗は、早ければ午前1〜2時頃、遅ければ午前4時〜5時頃です。胸の汗を拭いて乾いたタオルと取り替えてやって下さい。本人は微動もできませんので顔の汗も拭いて下さい。タオル10枚ほど持参しています。

③ 拘縮している左腕の発汗が特にひどいので就寝の際に、腕にタオルを巻いて下さい。これは、朝まで取り替えていません。

④ 発汗時には、アイスノンか、水枕をタオルに包んであてがって下さい。

4、一月前から、左体側を中心に、ひどい「湿疹」に悩まされてきました。朝夕二回、持参の塗り薬を塗布して下さい。

5、喀痰の排出は、一大事に直結する可能性があります。一時は、午後11時〜午前1時〜3時〜5時と吸引措置を行ったこともあります。が、幸い、最近は、ずっと安定していてゴロゴロもないの